

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月29日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数に対して適切なスペースを確保しています。児童が向かい合わせにならないよう机の配置をおこない、学習スペースと活動スペースを分け、安全を確保しています。	今後も児童の利用人数や状況に応じた机の配置、スペースの確保に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準以上の職員数、専門職員を配置し、適切に対応をおこなっています。	今後も同様に、適切な人員を確保・配置してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所が2階にあるため、職員が必ず付き添い対応をしています。事業所内は床がフラットになっており、活動しやすい環境に配慮しています。机の角が児童の頭や目の高さにあたる児童がおりますので、角カバーを取り付けています。	今後も事業所前の階段は必ず職員が付き添い、出来る限り安全に配慮してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日掃除を行っており、感染症防止として来所後すぐに石鹸で手洗い、手指消毒、体温測定を促しています。	空間の除菌を行い、密にならないよう工夫をします。また季節に応じた壁面等で心地よく過ごせる環境を作っております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		リフレクション会議を行い、全職員が意見を意見を出し合える機会を設けています。議事録を作成し、情報共有に努めております。	今後も定期的にリフレクション会議をおこない、共通認識、意思統一の徹底を図ってまいります。職員の意見交換は日頃よりおこなっていますが、ノートに記録するなどの方法で、伝え忘れがないよう情報共有に努めてまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的にアンケートにご協力をお願いし、保護者様からのご意見をもとに改善につなげております。	今後も保護者様のご意見をもとにより良い支援が出来るよう業務改善に向けた取り組みをおこなってまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果はCOMPASSの公式Webサイトで公開しております。	今後も毎年Web上で自己評価結果の公開をおこなってまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナの影響により機会は減っておりますが、内部・外部の研修には積極的に参加し、参加後は情報共有をおこなっています。	今後も内部・外部の研修には積極的に参加し、職員の資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントの実施で児童の特性や課題、保護者様のニーズを踏まえ支援計画を作成しています。	今後も適切にアセスメントをおこない、児童の現状や変化、保護者様のニーズを踏まえ支援計画を作成いたします。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一されたアセスメントツールを使用し、子どもの状況や、保護者様のニーズの確認をおこなっています。	今後も統一されたアセスメントツールを活用し、児童の状況や保護者様のニーズを把握してまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿ったうえで保護者様と面談をおこない、ガイドラインの内容から必要な項目を選択して、支援内容を設定しています。	継続してガイドラインの必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を設定してまいります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画をもとに療育をおこない、気づきを記録し、情報共有を図ります。	職員間で情報共有に努め、支援計画書に沿った支援をおこなってまいります。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各職員のアイデアや意見を取り入れ季節や年齢に配慮した活動をチームで考えております。	チームで話し合いの場を設けて計画を立て、今後も計画に沿った支援をおこなってまいります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の成長や特性に応じて、季節を取り入れ、固定化しないように支援内容や療育プランをチームで考えております。	コロナ感染拡大防止への対応を十分におこない、個々の成長や特性に応じた療育が出来るように努めてまいります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動を個々の児童に必要な支援内容に応じて計画し、取り入れています。	保護者様と職員、関係機関等と連携を取りながら個々に合った支援計画を作成してまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、当日の送迎や療育の担当を決め、支援の内容や役割分担について確認をおこなっています。	毎日、支援の内容や役割分担を必ずおこない、指導員が常に支援計画を確認し、共有ができる様に療育ファイルの中に入れて共通理解を持って支援できるよう努めてまいります。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日の記録を毎日終了後におこなうことで振り返りを行っています。	送迎や休みなどで参加できなかった職員にも周知できるように業務連絡ノートを使い、共有してまいります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を書き、何か変化が見られた場合、情報共有しています。	職員全員が必ず記録を行い、支援の検証や改善につなげてまいります。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをおこなっています。	今後も、定期的に職員間でも計画の見直しの必要性に関して考えてまいります。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には児童発達管理責任者が参加しています。	職員間で情報共有をおこない、担当者会議へは児童発達管理責任者が参加し、情報提供をおこなってまいります。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		子ども政策課や障害福祉課と連携をおこなっています。	今後も定期的に関係機関との連携を図ってまいります。
	23 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		在籍していた園との情報共有をおこない、相互理解に努めています。	関係機関との連携を定期的におこない、情報交換情報共有に努め、相互理解を図ってまいります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		進学時には児童の状況について情報共有をおこなっています。	関係機関との連携を定期的におこない、情報交換情報共有に努め、相互理解を図ってまいります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナの影響もあり、回数は減りましたが機会があれば助言や研修を受けています。	案内をいただいた際は積極的に参加し、専門機関との連携を図ってまいります。
	28 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナの影響もあり、交流する機会はありませんでした。	コロナ収束後は、機会を作り保育園や認定子ども園、幼稚園等との交流を検討してまいります。
	29 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		今年度はコロナの影響で、協議会の開催がありませんでした。	コロナの収束後は研修会開催された際は参加したいと思います。
	30 日頃から子どもとの状況を伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、一日の様子についてお伝えし、連携を図っています。	連絡帳や電話にて日々の利用状況、課題について相談を行い、共通理解できる様に努めてまいります。
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		保護者様から相談を受け、児童との関わり方についてなど助言やご提案をさせていただいています。	必要に応じて面談を行い、家族支援もおこなってまいります。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、児童発達管理責任者より丁寧な説明をおこなっています。	契約時に丁寧に説明し、いつでも問い合わせができる様に連絡先をお伝えし合わせてまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、利用児童の課題を把握したうえで作成した支援計画について保護者様へ説明をおこない同意を得る様に努めております。	日々の児童の様子をお伝えし、作成した支援計画書を保護者様へ丁寧に説明をおこなってまいります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		悩みについて傾聴し、助言や提案を心がけております。	保護者様の悩みに寄り添い、適切な助言、適切な支援が出来るように対応をおこなってまいります。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナの影響もあり、開催出来ておりません。	コロナ収束後、ご意向を伺いながら保護者同士の連携を支援したいと考えております。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れとともに、子どもと保護者を周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員間で情報共有をおこない、迅速に対応できる体制を整えています。	今後も迅速丁寧に対応できるように体制を整えてまいります。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式Webサイトで情報の発信をおこなっています。	今後も公式Webサイトで定期的に情報の発信をおこなってまいります。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は、書類を鍵付き書庫にて管理しております。	個人情報の取り扱いには十分注意し、管理にも配慮してまいります。
	39 障がいのある通や情報伝達のための意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個人の手特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思疎通を図っております。	今後も情報伝達ツールにおこなえるよう意思疎通と情報伝達に配慮してまいります。
	40 事業所の行かれた地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		交流の機会はありませんでした。	コロナ収束後、機会があれば企画を検討したいと考えております。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		誰でも見ることが出来る場所に掲示し、職員に周知しております。	必要なマニュアルは保護者様にもご覧いただける場所へ掲示をおこない訓練を重ねてまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的避難訓練、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練をおこない、災害に備えております。	避難訓練は、年間計画を立てて実施し、その他必要な訓練もおこなってまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している	○		契約時にアセスメントシートに記載していたさながら状況を確認しています。	今後も保護者様として児童の情報交換をおこない、継続して児童の状態の確認と対処してまいります。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様からの聞き取り情報を全職員で共有し、一覧表を作成しております。	必ずアセスメントシートの確認をおこない、指示書に基づく対応に努めていきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは報告書にて職員間で振り返り、共有に努めています。	事業所内でミーティングや勉強会をおこない、共有してまいります。
	46 虐待を防止するため、適切な研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の虐待防止研修には必ず参加し、その後の事業所内研修で周知しております。	今後も積極的に社外の虐待防止への研修へ参加し、職員全員で防衛してまいります。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしております。	身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、保護者様、関係機関と十分な話し合いのうえ、了解をいただいたき、計画書にも記載するようにいたします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。